

復 命 書

令和 年 月 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	柳 一 夫
研修会名等	全国議長会、町村議長、副議長研修会
期 間	令和 6 年 5 月 2 日 (火) ~ 令和 年 月 日 ()
場 所	東京国際フォーラム ホール A、東京都秋田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号 13:00 - 16:45 分
内 容	13:05 ~ 14:05 議員の口手不足は「住民自治の危機」その打開の道を探る 講師、口手不足対策検討会委員長 江藤俊昭氏
	14:25 ~ 15:25 ハラスメント - 自治体議員が注意すべきポイント 講師、弁護士、元、流山市政策法務室長、中佐直美氏
	15:25 ~ 16:45 将来の地方議会を担うのは誰か 講師、慶應義塾大学法学部政治学科教授 谷口尚子氏
所 感	各町村、現状の議員口手不足を考へる時、その対策や 呼びかけ、諸問題も考へる ことが出来る。 又、ハラスメント、色々あるが言葉、かた方、やぶる事を思ひ考へる。
添付資料	

復 命 書

令和 年 月 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	柳 一夫
研修会名等	郡議会、正副議長、局長行政産業研修視察
期 間	令和 6 年 5 月 22 日(水)～令和 年 月 日()
場 所	13:30～15:30 神奈川県足柄上郡開成町延沢113 開成町議会
内 容	議会広報の取り組みと、議会改革の取り組み 議会は通常の会期制を取り、会期は1月1日～2月31日 議会においては傍聴者が減少傾向にあることもあり 日置議会を始めて本年より国目を向けた これと併せて広報のあり方も話し合い、議論し便りも読む 見てもう便り考之一搬算肉の掲載文字数も大幅に 少くした。
所 感	便りに対しては年々良くなること、113と考えて113か さらに見やすく読んでもっと紙面作りを考えてほしい 川竹のこはと考えて下。
添付資料	

復 命 書

令和 年 月 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	有留 智哉
研修会名等	全国町村議長・副議長研修会
期 間	令和6年5月21日(火)
内 容	<p>議員のなり手不足は「住民自治の危機」：その打開の道を探る 町村議会のなり手不足対策検討委員会委員長大正大学教授 江藤俊昭氏 町村議会議員のなり手不足対策「町村議会議員のなり手不足に潜む3つの危機～議会の取組と幅広い協働による地方自治の未来を創ろう～」の発表があり、町村議会議員のなり手不足は地方自治の弱体化を招く。また、多様性を欠く議会では二元代表制の趣旨も損なわれていく。現在はまだ選挙が行われている議会も、将来的に無投票・定員割れになる可能性がある。そのような中では、縮小社会の打開を目指さなければならない。住民と歩むような議会改革、議員と住民が近づくことが必要だと感じた。議会だけではこの問題は解決できない、住民・首長・議会がスクラブを組み取り組んでいきたいと思う。</p> <p style="text-align: center;">ハラスメント –自治体議員が注意すべきポイント– 弁護士・元流山市政策法務室長 帖佐 直美 氏 流山市特定任期付職員で政策法務室長であった帖佐氏は、議会義務局書記も併任していたことは羨ましいと思えた。議会事務局の充実につながる。</p> <p>ハラスメントは、相手を傷つける。議会議員においては議員自身、ひいては議会全体の社会的信用を大きく損ねる行為だ。議員という立場では言動は十分気をつけなければならない。職員を呼び出し長時間拘束してもパワハラになる。ということにはびっくりした。執行部の資料提供なども、あくまで任意での行為であって、そのことについての認識を今一度確認し</p>

た。議員一人ひとりが、議員の言葉は職員にとっては重く感じてしまう。と、いうことを考え対応をすべきである。ハラスメントは様々なハラスメントがある。今後、ハラスメント防止、対策の条例制定もわが町でも必要だと考える。

将来の地方議会を担うのは誰か?

慶應義塾大学法学部政治学科教授 谷口 尚子 氏
地方議会においては、多様な属性を求められる。議会だけではどうすることもできない。議会にできることは、制度や仕組みの改革。議会内の意識改革を行っていかないといけないと感じた。

所 感

添付資料

復 命 書

令和 年 月 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	有留 智哉
研修会名等	神奈川県開成町議会
期 間	令和6年5月22日(水)
内 容	<p style="text-align: center;">議会広報の取り組みについて</p> <p style="text-align: right;">開成町議会</p> <p>昭和30年に2つの村が合併し3,000人の人口が現在では18,329人。また、町の面積も6.56km²と町の規模は全然違うが、議会改革の取り組みは大変参考になった。日曜議会、ペーパーレス化、議会映像のインターネット配信。また、利用率の少ない議場を自習室として一般開放。議会を身近に感じる取り組みを行っていた。また、議場の席の配置も良いと感じた。議場はフラットで、傍聴者・議員・執行部・議長と顔の見える配置になっていた。誰でも行ける議場で、顔が見えることにより、緊張感も生まれる。また、一人ひとりの意識も変わってくると思えた。</p> <p>議会だよりの改革では、捨てられないように。見てもらえるように。紙面づくりに力を入れていた。そして、読むことから、見る紙面づくりへ。ひと目見て、違いが分かった。また、議会独自のウェブサイトを作成し動画配信も行っていた。ペーパーレス化に伴って機器の導入をし、その機器を使って議員で作っているそう。議会の情報を短くまとめた動画は見やすく、わかりやすかった。説明をして頂いた議員一人ひとりが非常に熱意を持っているのを感じた。肝付町議会でも議会改革をおこなって来ているがこのままではダメだと思った。やはり、このままではいけないと、一人ひとりの議員が危機感を持ち取り組まなければ真の議会改革は無理であろう。そうならないためにも、今回の開成町の取り組み等を各議員にも話、今一度議会改革についての再確認をしていこうと思えた。</p>
所 感	